

人事

松伏町副町長の選任

鈴木 寛氏 (再任) 任期：令和4年4月1日から令和8年3月31日まで

松伏町固定資産評価審議委員会委員の選任

高橋 久子氏 (新任) 任期：令和4年4月20日から令和7年4月19日まで

村田 光義氏 (再任) 任期：令和4年6月1日から令和7年5月31日まで

松伏町農業委員会委員の任命 任期：令和4年4月7日から令和7年4月6日まで

永野浩司氏(下赤岩) 横川朝治氏(大川戸) 山崎久俊氏(上赤岩) 藤江健広氏(大川戸) 石塚 要氏(松伏) 山崎秀夫氏(大川戸) 須賀喜佐子氏(上赤岩) 岡野正幸氏(金杉) 高橋 實氏(魚沼) 柴田光善氏(魚沼) 岡田嘉男氏(田島) 八木大輔氏(田中) 小島康平氏(築比地) 鈴木洋子氏(大川戸) ※ () 内は住所地名

条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

趣旨：非常勤職員の育児休業及び部分休業の取得要件の緩和（在職期間1年以上との要件の廃止）
育児休業しやすい職場環境の整備（職員への育児休業に係る研修の実施・相談体制の整備）

松伏町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

趣旨：不妊治療のための休暇 年間5日（体外受精その他の規則で定める治療は10日） 単位：1日、1時間

1. 令和3年度松伏町一般会計補正予算

令和3年度松伏町一般会計補正予算 (第10号)

3億284万円

【主な歳入】	地方消費税交付金	3,897万円	【主な歳出】	総務費	358万円
	地方交付税	4億3,029万円		民生費	1億1,716万円
	国庫支出金	4,945万円		農林水産業費	1,656万円
	県支出金	6,134万円		諸支出金	1億9,999万円
	繰入金	△2億5,690万円			
	町債	△3,813万円			

主な質疑 問 諸支出金 公用・公共用施設整備基金積立金1億9,999万円増額の理由は。
答 老朽化に伴う保健センターの建替えを含めた費用の積み立てを行う。総工費約5億6,000万円以上を想定している。

令和3年度松伏町一般会計補正予算 (第11号)

675万円

小中学校の新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品及び備品購入費の増額。

【主な歳入】	国庫支出金	338万円	【主な歳出】	教育費	675万円
	繰入金	338万円			

2. 令和4年度松伏町一般会計補正予算

令和4年度松伏町一般会計補正予算 (第1号)

1億5,072万円

新型コロナウイルス感染症対策に係る中小企業等支援金及び保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金の計上等に伴う予算の補正。

【主な歳入】	国庫支出金	1億4,072万円	【主な歳出】	総務費	1,855万円
	県支出金	209万円		民生費	1,658万円
	繰入金	791万円		衛生費	1,829万円
				商工費	7,847万円

意見書・決議

(一部省略) ※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議

可決

本年2月24日から開始されたロシアによるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙である。このような力による一方的な現状変更の試みは、国際秩序の根幹を揺るがす明白な国連憲章並びに国際法違反であり、断じて許すことはできない。よって、松伏町議会は、ロシアによるウクライナ侵略を激しく非難するとともに、国連憲章にのっとり国際法を遵守し、軍の即時撤退と平和的解決を行うよう強く求める。以上、決議する。

介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書

可決

政府に対して、地域の介護サービスを持続可能なものとするために、以下の事項に対して特段の配慮を求める。

- (1) 事務手続きの簡素化に最大限努めること。
- (2) 「介護職員等特定処遇改善加算」の配分方法について、加算金の弾力的な運用が可能となるよう所要の措置を講じること。
- (3) 原則3年ごとに行う公的価格の見直しにおいては、介護報酬申請の手続きの簡素化と、人材確保への事業者の裁量権を拡大するための制度の刷新を検討すること。

地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

可決

政府に対して、地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進について特段の取り組みを求める。

- (1) すべての子どもたちの学びの継続のために すべての地域で、感染症の拡大防止や不登校児童生徒への柔軟な対応など、誰もがどこでも安心して学びが継続できるように、所要の措置を講じること。
- (2) 医療への適時適切なアクセスのために すべての住民が「かかりつけの医師」に繋がれるための取り組みを強化すること。
- (3) 新しい分散型社会の構築のために (略)
- (4) 持続可能な地域の医療と介護のために (略)

福祉・介護、保育などのケア労働者の抜本的な処遇改善を求める意見書

否決

日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書

否決

地下鉄8号線の建設の実現に向けた基金の再設置を強く求める決議

委員会へ付託

主な議案の採決 件名 (3月定例会)	議員名												
	佐藤 永子 (自)	長谷川 真也 (未)	松岡 高志 (未)	福井 和義 (無)	田口 義博 (自)	高橋 昭男 (自)	増田 秀雄 (未)	川上 力 (公)	吉田 俊一 (共)	砂川 清時 (自)	高野 祐大 (チ)	村上 真由美 (公)	平野 千穂 (共)
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(議案第21号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松伏町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例(議案第23号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度松伏町一般会計予算(議案第30号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和4年度松伏町国民健康保険特別会計予算(議案第31号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和4年度松伏町介護保険特別会計予算(議案第33号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和4年度松伏町後期高齢者医療特別会計予算(議案第34号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
<意見書・決議>													
ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し平和的解決を強く求める決議(発議第1号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書(発議第3号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書(発議第4号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉・介護、保育などケア労働者の抜本的な処遇改善を求める意見書(発議第5号)	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●	◎
日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書(発議第6号)	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	○
地下鉄8号線の建設の実現のに向けた基金の再設置を強く求める決議(発議第7号)	総務産業常任委員会へ付託										◎		

(○=賛成、●=反対、◎=提出者)(会派名) 自=自民クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、無=無所属クラブ、チ=チェンジ松伏

臨時会

2月3日に開催されました

提出された議案は2件すべて可決された。

専決処分の承認を求めることについて（令和3年度松伏町一般会計補正予算(第8号)）

子育て世帯等臨時特別支援事業の実施に伴い、緊急に令和3年度松伏町一般会計予算を補正する必要が生じ、令和3年12月17日に令和3年度松伏町一般会計補正予算（第8号）を専決処分したものと

主な質疑

- 問 子育て世帯等臨時特別給付金2億2,040万円の積算根拠について聞く。
- 答 令和3年9月30日を基準として申請が要らないプッシュ型で対応している児童手当対象児童数3,403名、申請が必要となる16歳から18歳の児童、公務員世帯の児童、対象申請期間令和4年3月31日までに出生するお子さんを見込んで合計4,408名に現金給付分、今回の8号分で5万円に5万円を乗じた2億2,040万円となる。

令和3年度松伏町一般会計補正予算（第9号）

松伏町役場第二庁舎空調設備改修工事費及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金の計上等に伴い、予算の補正をするもの

主な質疑

- 問 住民税非課税世帯等臨時給付金3億6,000万円の積算根拠について聞く。
- 答 非課税世帯の方に世帯当たり10万円を交付する制度。令和3年度住民の課税者データを税務課から提供してもらい、そこから計算をして課税世帯を9,007世帯と算定した。住民税の課税は、令和3年1月1日の世帯数が1万2,115世帯となっている。よって課税世帯と想定している9,007世帯と住民情報の世帯数1万2,115世帯の差分3,108世帯が非課税世帯と想定している。給付金は、令和3年12月10日の世帯数で把握をするので増加率を勘案して3,120世帯と補正し、生活保護世帯280世帯を加えて最大値は、3,400世帯と見込んでいる。

町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

川上 力

- 交通体系整備の推進
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 太陽光発電の防犯灯と防犯カメラ設置
- デジタル弱者対策

村上 真由美

- 重層的支援体制整備事業の推進
- 誰もが安心して暮せる制度の充実

増田 秀雄

- 脱炭素社会構築への取り組みについて
- 小中学生の通学時における交通安全対策について
- 福祉問題に対する相談体制の充実について
- 認知症に対する啓発、見守りについて

田口 義博

- 農業振興対策について
- 町のシテイプロモーションの取り組みは
- 交通安全対策について（主要地方道松伏春日部関宿線）

福井 和義

- 人口減少を抑制できる都市計画

砂川 清時

- 人口の流出の抑制と定住促進を主眼とした取組みについて
- 新型コロナウイルスワクチン接種について

松岡 高志

- コミュニティ・スクール導入における地域社会総がかりの学校教育について

高野 祐大

- 町民に信頼される行政を目指し、EBPM（エビデンスに基づく政策立案）の推進を

平野 千穂

- 加齢に伴う難聴者の早期発見と、補聴器の購入補助を求める
- 女性の役付職員への積極的な登用と男性職員の育休促進を
- 子ども・教職員などのコロナ感染防止対策について

吉田 俊一

- 交通不便地域や高齢者のための交通政策の推進を
- 令和4年度の国民健康保険の事業費納付金、運営について
- 新型コロナに対応する検査と医療体制充実を国や県に求めよ
- 地方交付税など一般財源の確保の見直しについて

10人の議員が町政を問う